

# 「元気いっぱい・笑顔いっぱい」

特別支援教育統括コーディネーター 加賀谷 勝

## 「ある園で見つけた心に残る言葉」

### 先輩から教わった言葉

- ・ 子どもは何を習ったかは忘れても、誰に習ったかは決して忘れない。
- ・ 思い立ってではなく、思い余って相談するのが親。
- ・ 受け止めてもらえたと実感したとき、初めて親は教師を信頼する。
- ・ 頭を下げているのは、立場にであって、あなたではない。
- ・ 農家の方々が日に何度も田んぼに足を運び慈しんでお米を育てるように、私たちは子どものもとに向かっているのだ。

### 先輩から教わった言葉

- ・ 教師が話すときに意識しなければならないことは三つ。一つは、言葉を選び短く話すこと。二つは、聞いている全員に聞こえるように話すこと。三つは、批判的な言い方ではなく建設的な言い方で話すこと。
- ・ 正しいことを教えるのが教師ではなく、正しいことに気付かせるのが教師
- ・ 一人の子どもには、その子を自分の命よりも大切に思っている人が何人もの人がいる。

『先輩から教わった言葉』を見つけた園の様子を紹介します。教室では、「今日は〇〇と□□、どっちで遊びたい？」と柔らかな笑顔で話す先生の問い掛けに、子どもたちが自分の思いや考えを表現していました。園庭では、先生が気になる子どものそばで一緒に砂遊びをしながら、「どっちが多い？、平らってどういうこと？」などと言葉のキャッチボールを楽しんでいました。大人の考えを押し付けるのではなく、子どもたちから答えを引き出そうとする関わり方を見て、『先輩から教わった言葉』を実践しているからできると思いました。

言葉は消えてなくなりますが、聞き手・受け手には残ります。たった一言が人生を変える大きな力があります。あなたは、子どもにどんな言葉を掛けていますか。



**とれたて直送便**



### 【5歳児健診を保護者の気付きへ】

今年度から能代市は『5歳児親子相談』の内容を一部変更し、周辺の3町と同様に小児科医による診察や身体測定を取り入れます。また、三種町では『5歳児健診』で発達の偏りが疑われた子どもの保護者と早い時期に就学相談を実施し、就学の流れや学校見学の情報提供を行います。5歳児健診を保護者の気付きにつなげ、医療、福祉、教育の関係機関が連携して就学前から学校卒業後まで、子どもと保護者を支援する体制づくりを進めていきます。